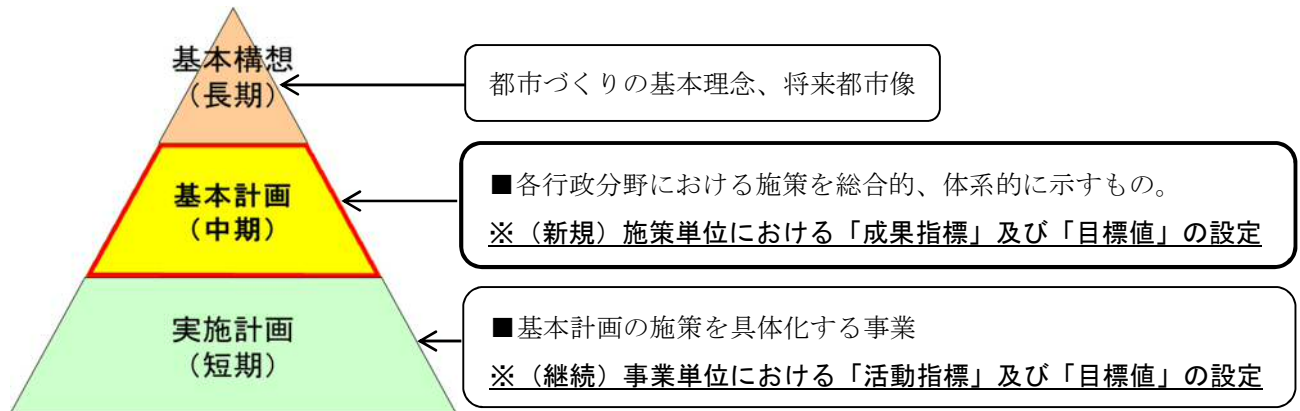


総合振興計画次期基本計画及び次期実施計画における 成果指標と活動指標について

■計画構成



■ 成果指標と活動指標

➤ 成果指標（アウトカム） ← 基本計画に掲載

行政活動の結果として、市民にもたらされた便益や実感、どれだけの成果（効果・効用）がもたらされたかを表す指標

➤ 活動指標（アウトプット） ← 実施計画に掲載

資源（人、金など）を投入して、どんな活動を行ったのか、どのようなサービスを提供したのかなど、実施した活動量・事業量を表す指標

■成果目標の活用

- ・中長期の視点から、各分野において「目指す方向性」の実現度合いを把握するために活用する。
- ・各施策を推進するための個別具体の事業を掲げる次期実施計画について、事業の選定及び中間年の改定の際に活用する。

■ 指標のイメージ（都市基盤・交通の分野）

【施策1】 低炭素で質の高い生活環境を提供する市街地の形成

目指す方向性

地域の均衡ある発展のため、市街地の再生に取り組み、都市機能の集積・再配置を図るとともに、環境との調和を保ちながら、質の高い生活環境を提供する市街地の形成を目指します。

【基本計画における成果指標①】

生活道路が整備され、安全で生活しやすいと感じる市民の割合

【基本計画における成果指標②】

まちなかに緑や開放的な空間が感じられ、快適な生活ができていると感じる市民の割合

【実施計画における活動指標の例】

- ・暮らしの道路・スマイルロードの整備件数
- ・身近な公園整備率
- ・地区計画決定地区数
- ・長期未着手の解消地区数
- ・〇〇土地区画整理事業の進捗率
- ・緑のカーテン事業に取り組む家庭数
- ・屋上緑化・壁面緑化を施した公共施設数